

宮崎の蝶を記録する

# めも蝶

VOL. 1 NO. 1

1991 (April)

<通巻1号>

A monthly journal of MIYAZAKI-no-CHO

## 目次

---

★ 「めも蝶」の創刊にあたって .....	2
<hr/>	
1) 岩崎郁雄： 西都市蛇籠川流域オオムラサキの調査で得たゴマダラチョウ...	3
2) 岩崎郁雄： 西都原古墳群で目撃した早春のチョウ .....	3
3) 高橋英樹： クロセセリの初見日 (1991年) .....	3
4) 岩崎郁雄： 1991年 3月に目撃したモンシロチョウ .....	4
5) 岩崎郁雄： アサギマダラ幼虫越冬の一例 .....	4
6) 岩崎郁雄： ウラナミシジミ2月の記録 .....	4
7) 岩崎郁雄： 1990年10月10日の蝶5種 .....	5
8) 高橋英樹： 鱒塚山で採集・目撃した蝶類 .....	5
9) 高橋英樹： アサギマダラの初見日 (1991年) .....	6
10) 高橋英樹： ミカドアゲハの初見日 (1991年) .....	6
11) 高橋英樹： ヤクシマルリシジミがフジで吸蜜 .....	6
12) 岩田 靖： ツマグロキチョウ越冬成虫の吸蜜植物 .....	6
13) 緒方良幸： 1991年春季蝶類目撃記録 .....	7
14) 岩田 靖： ジャコウアゲハの初見日 (1991年) .....	8
15) 岩田 靖： ウラギンシジミの4月の食樹 (ナツフジ) .....	8
16) 岩田 靖： 北諸県郡三股町の蝶類分布資料(1) .....	9
17) 岩田 靖： アオバセセリの吸蜜植物 .....	10
18) 岩田 靖： イシガケチョウの春季における産卵行動の観察例 .....	11
<hr/>	
※ あとがき .....	12

---

宮崎虫葉の会

---

---

## 「めも蝶」の創刊にあたって

---

---

宮崎県には、昆虫を趣味とするサークルとして、「宮崎昆虫同好会」と「宮崎蝶類愛好会」の2つがあります。それぞれ会の名前の示す通り、前者は昆虫全般、後者は蝶を専門とするアマチュアの趣味活動の団体です。

「宮昆」では会誌『タテハモドキ』を年1回、「宮蝶」では『宮崎の蝶』を年2回発行しています。したがって、蝶愛好者はこの2つのサークルに入会していれば、年3回報文を投稿することができるわけです。また「宮昆」では他に連絡誌として『宮昆ニュース』を年3回発行しており、第7号(1990年12月)から短報も掲載するようになり、投稿の枠が広がりつつあります。

しかしながら、発行回数も限られておりますし、作成される頁数も会の経営状況から自ずと限定されるでしょう。また活字印刷される貴重な会誌には、なかなか気軽な投稿はできないのです。さらに、例えばゼフィルスといった人気の高い種や、その他の稀種・迷蝶の類の報文は数多く、データはその都度蓄積されていきますが、身近な普通種はなかなか報文にしにくい傾向にあります。したがって、普通種の分布や生態に関する記録は報告されずに埋もれていく可能性が大きいといえます。

このような背景から、記録されずに埋もれてしまうデータを少しずつでも残し、集積していくために、普通種の記録、あるいは断片的な観察記録でも気軽に投稿・発表できる場を新たに作ってみようではないかという話が持ち上がりました。そこで、宮崎市に住む蝶屋仲間が集まり、宮崎の蝶の分布・生態に関する小さな記録を積み上げていく活動を開始することにしました。この会誌の名称『めも蝶』は、この記録活動を意味するものです(日頃の活動の成果をまとめるというよりは、ちょっとした採集・観察記録を手短かにメモしていく、といったような単純さを表現してみました)。もちろん広く宮崎県内の蝶を対象としたデータの蓄積を目的にしています。この活動が宮崎県の蝶類の分布や生態の解明に少しでも貢献していけばと、発起人一同かすかな期待を寄せています。是非多くの方に眼を通していただき、ご指導、ご助言をいただけたらと思っております。

1991年4月27日

宮崎蝶の会 発起人一同